

福津市社協だより



P 2～P 3 特集 福津市ささえ合い協議体

P 4～P 5 平成30年度事業報告

P 6 小地域かわら版/福祉教育ボランティア養成講座～視覚障がい編～

P 7 赤い羽根ありがとうメッセージ/連載 こんにちは！民生委員です！

ホームヘルパー募集

P 8 ふくつ・まごころマーケット



 **今月の表紙** 福津市第2層生活支援コーディネーター誕生！

(詳しくは裏面 P 2～3 をご覧ください)

この広報誌は共同募金の配分金により発行されています。

特集

福津市ささえ合い協議体

協議体は、誰もがみんな住みやすい「共生社会」の実現のため、地域でどのような仕組みや助け合いがあれば暮らしやすいのか、地域の情報を共有し、話し合いをする場です。

福津市では、平成28年10月に「福津市ささえ合い協議体」が設立され、毎月1回、第4水曜日の18時に開催されています。令和元年7月現在で34回行われています。

福津市ささえ合い協議体の内容

●地域の宝を自慢しよう

自分たちの地域にある助け合い活動や他地域に知らせたい自分たちの地域の活動を、各地域（福津市内8地域）から発表しました。

また、他地域の活動内容等の情報を得ることができ、地域を越えて情報交換し合う姿も出てきました。

●テーマ別に語り合おう

地域別のグループから、テーマ別のグループとなりました。参加者は、5つのテーマ「居場所づくり」「サロン活動」「買い物支援」「移動支援」「生活支援」の中から興味のあるグループへ自由に入り、意見交換を行いました。

●ミニバスに関する提案書を作ろう

福津市内を循環しているコミュニティバス（ふくつミニバス）について話し合いました。そして、協議体の中で出た意見を提案書としてまとめ、市長へ提出しました。また、市長・副市長・教育長に提案書について説明も行いました。



ささえ合い協議体構成メンバー参加届提出者：162名（令和元年6月26日現在）

●郷づくりエリア別

郷づくり	人数	割合
福間	33	20%
福間南	23	14%
神興	17	10%
神興東	26	16%
上西郷	10	6%
津屋崎	16	10%
宮司	14	9%
勝浦	13	8%
その他	10	6%
合計	162	100%

●所属別（重複あり）

所属	人数	所属	人数
医療機関	9	社会福祉法人（高齢）	9
介護サービス事業所	20	社会福祉法人（子ども）	1
郷づくり推進協議会	18	蓮華草	5
自治会	5	市職員	17
小地域福祉会	13	議会	4
民生委員・児童委員	12	その他	66
見守り協定	2		
合計			181

●地域ごとの計画表を作ろう

日常生活圏域ごとのグループワークを通して、どんな支援が必要なのか、どんな助け合いができるのかを話し合いました。そこで出た意見をまとめて、エリアごとの計画表を作成しました。

福津市ささえ合い協議体から 生まれた取り組み

①外出支援団体サポート事業

買い物支援やサロン活動などの送迎を行う地域団体に、社会福祉協議会のワンボックスカーを貸し出す事業です。

現在、登録された5団体が実施しています。



外出支援団体サポート事業



サロン&買い物ツアー



移動販売

②サロン&買い物ツアーinイオンモール福津

市内の社会福祉法人のマイクロバスをお借りし、イオンモール福津の協力を得て、イオンホールで介護予防サロンを行いました。

この取り組みも協議体に参加しているイオンモール福津の方からの提案がきっかけとなり始まりました。

③移動販売の取り組みの拡大

協議体に参加している地域の方向士の情報交換や古賀市の移動販売の事業所の協体への参加により、各地域での取り組みの拡大に繋がっています。

●より身近な地域への展開

今年度から、社会福祉協議会が第2層生活支援コーディネーターの支援事業を高齢者サービス課から委託を受けました。

各郷づくり地域に配置された生活支援コーディネーターの支援を行い、今後、より身近な地域での話し合いや取り組みを進めていきます。

郷づくり地域	生活支援コーディネーター
福間	広渡 義明 さん
福間南	川原 睦夫 さん
神興	金本 加代子 さん
神興東	長井 和子 さん
上西郷	磯野 孝子 さん
津屋崎	芹野 伊津美 さん
宮司	清水 民樹 さん 則武 孝明 さん
勝浦	谷口 正秀 さん

少子・高齢・核家族化の進行に加えて、生活様式の変化や経済社会の構造変化等により、地域社会や家庭の様相が変容し、地域の支えあい機能が希薄化して、引きこもりや虐待、悪質商法、経済的困窮等、地域生活を営む上での様々な課題を抱え支援を必要とする人が増えています。

社会福祉協議会は、そのような状況の改善に向けて、「地域での支えあい活動の充実」「包括的・総合的支援体制の構築」「社協機能の充実強化と財源確保」等を重点的な取り組み事項に掲げ、地域住民の福祉力向上や地域ごとの互助活動の活性化を図るための事業を展開し、誰もが安心していきいきと暮らせるまちの実現に向けた住民主体の地域福祉活動の推進に努めてきました。

平成30年度のおもな事業活動報告

① 組織の運営

- 理事会の開催（5回/年）
- 評議員会の開催（3回/年）
- 評議員選任・解任委員会（1回/年）

② 地域での支えあい活動の充実

- 小地域福祉会 42カ所（新規結成3カ所）、活動支援・研修等の実施、郷づくり推進協議会との連携
- 介護予防サロン普及事業 27カ所
- 生活支援体制整備に係る協議体への参加
- 高齢者の生活支援ニーズ調査報告会
- 社会福祉法人連絡会の設置 / 公益活動の検討・実施
- ふくおかライフレスキュー事業への参加
- 災害ボランティアセンター設置・運営訓練
- 貸切バス使用補助事業 3団体
- ふくし活動用具貸出事業 266件/年
- 福祉団体支援（福津市あすなろ会、福津市身体障害者福祉協会、福津市在宅介護者ぶどうの会）
- 民生委員・児童委員協議会との連携

③ 包括的・総合的支援体制の確立

- 心配ごと相談事業（58件/年）
- 生活福祉資金貸付事業（実施主体：福岡県社会福祉協議会） 相談受付件数 190件/年
- 手話講習会事業 3クラス、全38回
- 福津市障害者意思疎通支援事業（福津市委託事業） 299時間/年
- 車イス無料貸出事業 137件/年
- 移送サービス事業 24件/年
- 訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業
 - 【訪問介護】 5,839.5時間/年
 - 【訪問型サービス】 1,085時間/年
- 障がい者居宅介護事業 1,108.5時間/年
- 地域生活支援事業（福津市委託事業） 72時間/年
- 同行援護事業 615.5時間/年
- 福津市ふれあい交流事業（福津市委託事業）
 - 【啓発イベント】 ふくつ・まごころマーケット
 - 【通年事業】 障がい者コミュニティカフェ「ふらっと」、6回/年 述べ58人参加
- 総合相談支援事業

④ 福祉サービスの充実と権利擁護

- あんしん安らか事業 相談件数 37件/年

身寄りのない高齢者などが、安心して住み慣れた地域で生活を送れるよう、事前に預託金を預かり、死後事務（葬儀・納骨・家財処分等）を行います。また契約締結後には、定期的な見守りや入退院時の支援、緊急時の対応等行うサービスです。



- 日常生活自立支援事業（実施主体：福岡県社会福祉協議会）
相談件数 55 件、支援回数 432 件 / 年、31 年 3 月末 契約者数 27 件
- あんしんサポート事業
- 市民後見推進事業（福津市委託事業）
権利擁護事業運営委員会 3 回 / 年、
市民後見人養成研修（フォローアップ研修）、事例発表・意見交換会、実務研修
- 法人後見事業 6 名（後見 4 名・保佐 2 名）
- ひとり親家庭等日常生活支援事業（福津市委託事業） 7 時間 / 年
- 障がい者虐待防止センター事業（福津市委託事業）
虐待対応・相談 125 件 / 年、障がい者支援連携会議権利擁護部会 2 回 / 年
障害者虐待防止研修会 2 回 / 年

⑤ 福祉教育と人材育成・支援

- ふくし体験教室 41 回 / 年 ●中学生職場体験受け入れ 3 名
- ボランティア保険の加入 加入者数 684 名
- ボランティア活動助成事業 7 団体 ●ボランティア団体情報交換会 2 回 / 年
- 運転ボランティアフォローアップ意見交換会 1 回 / 年
- 個人ボランティア登録 16 名 ●福祉ボランティア養成講座 27 名参加

⑥ 情報発信の充実

- 地域福祉啓発事業 3 回 / 年 ●ホームページの公開 ●広報誌発行事業 4 回 / 年

⑦ 社協機能の充実強化と財源確保

- 社協機能の充実強化 ●赤い羽根共同募金運動への協力 ●歳末たすけあい配分金事業

⑧ その他

- 納骨堂管理運営事業



収支決算

●収入		●支出	
(単位：円)		(単位：円)	
内 訳	決算額	内 訳	決算額
寄附金収入	2,038,000	人件費支出	67,623,123
補助金収入	57,096,473	事業費支出	4,634,591
受託金収入	8,146,434	事務費支出	18,403,965
事業収入	795,500	助成金支出	7,999,199
介護保険事業収入	23,697,942	固定資産取得支出	612,360
障がい福祉サービス等事業収入	2,592,939	積立資産支出	1,001,232
利息収入	13,976	拠点区分間繰入金支出	2,178,684
その他の収入	777,280	その他活動による支出	1,885,800
積立資産取崩収入	8,605,000	次年度繰越金	23,907,984
拠点区分間繰入金収入	2,178,684		
前年度繰越金	22,304,710		
その他の活動による収入	0		
収入合計	128,246,938	支出合計	128,246,938

詳細は福津市社会福祉協議会ホームページに公開しています。



「コミュニケーション麻雀で地域のつながりづくり、 睦町でコミュニケーション麻雀講座をおこないました」

ポイント コミュニケーション麻雀とは？

「コミュニケーション麻雀」の牌は、たわしサイズの大型です。2～3人1組で180cm四方の卓を囲み、ゲーム感覚で取り組みます。

通常の麻雀と比べてルールが簡略化されており、女性や子どもも気軽に楽しめます。また、参加者間のコミュニケーションが促進されるため、全国各地のサロンに広がっています。



6月9日(日)に睦町公民館にて「コミュニケーション麻雀講座をおこないました」。

「コミュニケーション麻雀は「お酒を飲まない、タバコを吸わない、お金を賭けない」をモットーに開発された、新しいレクリエーションです。参加者は3人1組になり、合計12人で1つのテーブルを囲みました。

「コミュニケーション麻雀は、頭や体の活性化だけではなく、あわせて地域のつながりを活発にしてくれる優れたものです。全身を使って牌を混ぜたり、戦略を考えたりするだけではなく、チームで取り組むことで「どの牌を捨てようか」とみんなで話したり、「なかなかそろわん」というもどかしさをみんなで笑い飛ばしたり、自然に会話が弾みます。

「近所さんとの楽しいひとときに参加者からは笑顔が溢れていました。」

「気軽に声をかけあえる地域を 目指して若木台5区に福祉会が 結成されました」

「大好きな若木台5区がいつまでも安心して住み続けられるまちであってほしい」そのような思いから、若木台5区に小地域福祉会が結成されました。その名も「五葉サロン」です。



「五葉サロン」の名前には、若木台「五」区のみなさんが気「楽」に集える「楽」しい場になって欲しいとの願いが込められています。

隔月1回のサロン活動に加えて、移動販売による買い物支援を行っていく予定です。

5月に行われた第1回目のサロンでは、たくさんの方が集まっておしゃべりや歌、体操を楽しみました。また、6月から「月2回の移動販売もはじまり、地域に根ざした福祉活動がさっそく始まっています。」

お詫びと訂正

社協だより6月1日号6ページの掲載内容について、一部誤りがありました。

○原町1区・2区・3区

○原町1区・2区・3区、有弥の里1区・2区

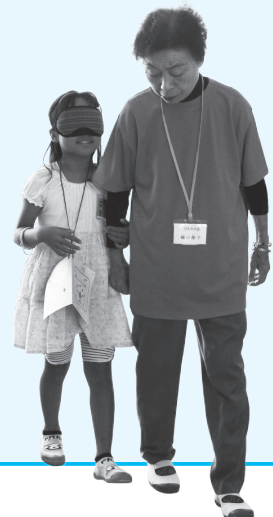
ここに「お詫び」して訂正します。

はじめませんか

福祉教育ボランティア養成講座 ～視覚障がい編～

小中学校で実施する福祉体験教室のボランティアを養成します。お気軽にご参加ください。

日程	令和元年8月26日(月) 13:30～15:30
会場	ふくとびあ3階らくらくルーム
対象者	市内在住、市内に通勤・通学している中学生以上の方
定員	先着40名
講師	福岡視力障害センター 視覚障害者生活訓練専門員
内容	1 視覚障がいについて(視覚障がいの見え方と不自由さ) 2 視覚に障がいがある方との接し方 3 実技 視覚障がい者との接し方のポイント 4 実技 アイマスク体験
お申込	令和元年8月19日(月)までに



受付・問合せ

福津市社会福祉協議会

電話 0940-34-3341

連載

こんにちは!
広げよう! 地域に根差した 思いやり!

民生委員です!

岡の3区・堅川区

清水 次郎さん



「困った方々に寄り添える 民生委員・児童委員」

今回は岡の3、堅川地区担当の清水次郎さんにお聞きしました。

岡の3区は古くからの伝統や文化が継承され、昔気質や人のよい方が多い地域です。また、堅川区は新興住宅地として約40年前に開発され色々な地域の方が集まった楽しく明るい地区で幅広い年齢層の方が多くいる地域です。

8年前、当時の区長からの推薦により民生委員を引き受けられたそうです。

「2地区とも高齢者が多く、詐欺や孤独死などが心配です」と地域のことを心配されるとともに、地域活動の中で充実した外出支援や交通体系の整備が必要だと話されます。

また、民生委員・児童委員の活動とともに津屋崎郷づくり推進協議会の広報委員としても活躍されています。

趣味は読書、スポーツなどで読書は時代物を愛読されています。

清水さんは、東京オリンピック（昭和39年）の時に遠賀川沿いで聖火ランナーに国旗を振りながら応援したとのこと。「東京2020年オリンピック」の聖火リレーが新原奴山古墳群を通ることが決まり、「一生に2度経験することはない。絶対声援を送る」と宣言されていました。



赤い羽根募金、 ありがとう!

シニアクラブ連合会

伸ばそう! 健康寿命 担おう! 地域づくりを

今年度より、赤い羽根共同募金の配分金を受けることとなりました。当連合会は、福津市内に41クラブ、約2,000人の会員を有しております。各クラブは、当連合会事業はもとより、地域に貢献する活動を行っています。

当連合会が目指すものは、生きがいづくり、健康づくり、仲間づくり、地域づくりです。

今後、超高齢・少子社会において、高齢者が生きがいを持って、共に助け合い支え合う活動の活性化により、健康で充実した生活を送ることができます。

当連合会は、活動の拡大をはかり、高齢者と共に社会の活力増進に貢献いたします。



赤い羽根募金は、福津市内の様々な福祉団体の大切な活動資金となっています。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

募集

訪問介護員 (ホームヘルパー募集)

福津市社会福祉協議会

初心者の方も歓迎です。月1回の研修会などで丁寧にサポートします。

賃金 時給 1,200円～
(他活動手当1件150円など有)

受付・問合せ

社会福祉協議会 ヘルパー室 TEL43-5453
詳しい内容はホームページをご覧ください。

ふくつ・まごころマーケット

日時 令和元年10月5日（土） 10:00～17:00
場所 イオンモール福津 1階 ノースコート



福津市内の障がい施設の製品が、大集合！
たくさんの方に、知ってもらいたいまごころのこもった商品です。

参加施設

アトリエ夢工房、なないろワーク
Be myself 福間、福間サンテラス
ふくとびあ障害福祉サービスセンター
昭和学園、浜千鳥、みどりの里
他セルフセンター福岡加盟団体より
5団体参加予定



まごころ製品について

福岡県では障がい者の皆さんがつくる製品や提供をするサービスのことを「まごころ製品」と名づけています。福津市でも3年前から市内のまごころ製品を扱う障がい施設を中心にまごころ製品の販売促進に取り組んでいます。買って頂いた売り上げは障がい者の皆さんの収入向上に通じ、自立の支援に繋がっています。

福津市障害者虐待防止研修会

主催：福津市

近年、障がい者虐待について痛ましい報道も多く見聞きします。虐待が起きる原因として、周囲の障がいに対する理解不足や、本人や家族が地域から孤立していることがあっていわれています。虐待を防止するためには、みんなが関心を持ち、理解を深めることで虐待を予防したり、早期に発見することが必要です。

たくさんの方と一緒に、虐待防止に対する理解を深めたいと思っています。ぜひ、ご参加ください。

日時 令和元年9月5日（木） 18:30～20:00（90分）
場所 福津市健康福祉総合センター「ふくとびあ」健康プラザ
 福津市手光南2丁目1番1号
対象 市民、市内の福祉事業所職員、障がい者を雇用されている企業等
演題 「障害者虐待防止法の基礎理解について」
講師 弓・柴尾法律事務所 弁護士 柴尾知成 氏
申込 電話、FAXにてお申込ください。（定員100名）
申込締切 令和元年8月26日（月）
問合せ 福津市社会福祉協議会 電話 0940-34-3341 FAX0940-34-3343

